優秀賞

おかえりなさい

茨城県 行方市立玉造小学校二年　石川 心美

わたしがすんでいるちいきには、「ぼんづな」というおぼんのぎょうじがあります。ひげとしっぽをそなえた三メートルほどの大きさのりゅうに見立てたつなに、ごせんぞさまのれいをのせてお家におくりとどけるしゅうぞくです。

おはかにごせんぞさまたちをおむかえに行き、つなにのせてそれぞれのお家にむかいます。「ほーとけさーま、のりらっしょ」。出ぱつのあいずです。お家にむかうときには、ごせんぞさまをまっているかぞくにもきこえるように「ほーとけさーま、めーらっしょ」。お家についたら「ほーとけさーま、おりらっしょ」とごせんぞさまをおろしてあげます。のこりのごせんぞさまに「ほーとけさーま、あがらっしょ」とこえをかけ、つぎのお家にむかいます。むかしは、ぼんづなは男の子だけのぎょうじでしたが、子どもの数がへったため、ここ数年は女の子もさんかするようになり、わたしも小学校一年生だったさく年からさんかすることになりました。

「ここちゃん、おかえり！」。夕方四時になると、青い車でほいくえんまで毎日おむかえにきてくれていたじいじ。はたらいているお母さんのかわりに、ほいくえんへおむかえに行くのが、じいじのおしごとです。大きなこえとえがおでむかえてくれるじいじが、わたしは大好きでした。

そんなじいじも、四年前に天国にたび立ってしまいました。「おかえり！」と言うこえが聞けなくなってしまったのはさびしいけれど、こんどはぼんづなでわたしが「おかえり！」と言ってあげるばんです。

さく年のぼんづなのときには、はりきってせんどうやくのちょうちんもちをたんとうしました。おはかからお家までのみちのりをまちがわないよう、いっしょうけんめいあんないしました。たくさんのごせんぞさまをつなにのせて「ほーとけさーま、のりらっしょ」。当日のお天気はあいにくの雨だったけれど、じいじがお家にかえってくる日だからレインコートをきればへっちゃらです。「ほーとけさーま、めーらっしょ」。かけごえをかけながらたくさんのお家をまわります。だんだん自分のお家が近づくにつれ、しぜんとかけごえも大きくなります。「ほーとけさーま、おりらっしょ」。いよいよじいじがお家にかえってきました。

わたしはじいじゆずりの大きなこえで、かんしゃのきもちをこめて言いました。

「じいじ、おかえり！」

この「ぼんづな」がこれからの未来につづいて、だれかの「おかえり！」がとどきますように。